第６回　北広島市雪対策基本計画策定検討委員会　議事概要

日　時：平成２３年１２月１９日（月）　17：30～19：00
会　場：北広島市消防本部３階 防災研修室

【出席委員】　岸委員長・大川委員・川幡委員・河村委員
斎藤委員・佐藤委員・鈴木委員
【事務局】　相馬建設部長、斉藤土木事務所長・橋本土木事務所主査
北口主任・山口主任・㈱シン技術コンサル　１名
【傍聴者】　１名

会　議　次　第

１．開　会

２．報　告

第５回雪対策基本計画策定検討委員会 議事概要

３．北広島市雪対策基本計画策定検討委員会提言書（案）の確認

４．北広島市雪対策基本計画策定検討委員会提言書の提出

５．その他

６．閉　会

傍聴者１名入場手続き。

１、開会

【事務局】　本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。定刻になりましたので、ただいまから第６回北広島市雪対策基本計画策定検討委員会を始めさせていただきます。では、着席して進めさせていただきます。本日は、10名の委員さんのうち７名の方に出席していただいております。松村副委員長、川口委員、仁木委員は所要により欠席される連絡が入っております。委員の過半数が出席されており、委員会は成立していることを、まず報告させていただきます。それでは、これ以降は委員長により議事進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

【委員長】　今日で最終会を迎えることになりまして、これまでいろいろとお世話になりましてありがとうございました。今日はセレモニーがメインとなりますが、市長さんに手渡す前に最終確認をしなければいけませんので、それを中心に、簡単ではございますが進めていきたいと思います。それでは座って進めさせていただきたいと思いますが、今日は提言書のどこが変わったかとか、先ほど事務局より追加資料が配られておりますが、これについてご説明をお願いします。

２、報告

【事務局】　第５回雪対策基本計画策定検討委員会議事概要について報告します。これにつきましては、【資料１】というものがお手元にあると思います。第５回検討委員会の議事概要につきましては、委員の皆さまのお名前につきましては委員Ａ、Ｂという形をとりまして、市のホームページにおいて現在公開されております。以上であります。

３、北広島市雪対策基本計画策定検討委員会提言書（案）の確認

【事務局】　続きまして次第の３、北広島市雪対策基本計画策定検討委員会提言書（案）の確認の説明に入る前に今回の会議資料の説明をいたします。最初に、第６回雪対策検討委員会、今回会議の次第でございます。次に、資料１となりますが、先ほど報告いたしました11月８日、火曜日に行われた、第５回雪対策検討委員会の議事概要となります。次は、今回の会議資料となりま

すが、Ａ３版横の１枚もので「第５回北広島市雪対策基本計画検討委員会での主な意見内容と変更対応」と記載している、これが資料２であります。北広島市雪対策基本計画策定検討委員会（案）の確認でありますが、この資料をもとに説明をさせていただきます。次に、ファイルに入った資料が「北広島市雪対策基本計画策定検討委員会提言書」となります。提言書の提出にあたり、最終確認のため、提言書（案）の説明をいたします。前回の第５回委員会において、内容については了承され、字句等の一部修正がありました。それを一覧表にしたものが資料２となります。委員会での主な意見内容を左側に記載しました。右側の表の左の始め側に提言書項の数字が記載されており、それは修正箇所が記載されているページを示しております。Ａ３版の表で、中ほどにある重点施策２、雪に強い住環境づくりの推進、（１）雪に対応した街区の形成の修正箇所から説明していきたいと思います。先ほどお渡ししたＡ４版の資料ですが、第５回の委員会の提言書（案）に、今から説明いたします内容について、訂正前の箇所を青字、修正箇所を赤字として作成しており、修正してページの取りまとめをいたしました。説明には、Ａ４版資料を使いたいと思います。

それでは、Ａ４版の１ページ目、提言書の 16 ページ目となりますが、中段の施策（１）雪に対応した街区の形成の中の「ルールに即した指導を行う」を「適切な運用を図る」に改めました。また、下段に「北広島市まちづくり指針」と「地区計画」について注釈を設け、具体例を示しました。

次に、２ページ目、提言書の 19 ページ目となりますが、上段の施策（１）地域との連携の推進の中の「除排雪や市民・企業と協力した」を「協働による」に改めました。「また、除排雪への理解、協力を得ることを目的に出前講座の開催を進めます。」を最後の段落に移動しました。

次に、３ページ目、提言書の 22 ページ目となりますが、上段の重点施策４、雪対策に関する支援の推進の現状と課題の中の「小型除雪機貸出事業」を「小型除雪機械貸出事業」に改めました。

次に、４ページ目、提言書の 23 ページ目となりますが、下段のコラムの中の「小型除雪機貸出事業」を「小型除雪機械貸出事業」に改めました。

次に、５ページ目、提言書の 29 ページ目となりますが、中段の施策（１）冬の暮らしに必要な工夫やルールの周知、啓発の中の「④ゴミ出しは収集日の朝に」を「④ゴミ出しルールの遵守」に改めました。

次に、６ページ目、提言書の 30 ページ目となりますが、上段の「⑥冬道における安全運転とマナー」を「⑥冬道における安全運転とマナーの啓発」に改めました。

次に、７ページ目、提言書の 31 ページ目となりますが、中段の施策（１）

冷熱エネルギーの利用促進で、「利用促進」から「利用」に改めました。下段の施策（２）冬季イベントの促進で「促進」から「推進」に改めました。
次に、８ページ目、提言書の 32 ページ目となりますが、上段の施策（３）ウインタースポーツの普及促進で「促進」から「拡大」に改めました。
その他として、９ページ目、提言書の５ページ目となりますが、上段の（６）地区別集計降雪量の推移の中の「地区によって降雪量が大きく異なり」を「地区によって大きく異なり」に改めました。下段の（７）近郊都市の累計降雪量の推移の中の「本市は近郊都市と比べ少なめに推移しています。」を「本市は近郊都市の中で中位となっています。」に改めました。
次に、10 ページ目、提言書の６ページ目となりますが、下段の（１）冬の生活で困っていることの中の「自宅前の置き雪の処理」を「自宅前の置き雪の除雪」に、「車道の除雪の改善」を「車道の除雪状況」に、「雪を捨てる場所の確保」を「雪を捨てる場所」に、「歩道の除雪の改善」を「歩道の除雪状況」に改めました。
次に、11 ページ目、提言書の８ページ目となりますが、中段の２．計画の位置づけの中の「定めたものです。」を「定めるものです。」に改めました。同じく下段の３．計画期間の中の「目標期間」を「計画期間」に改めました。
次に、12 ページ目、提言書の９ページ目となりますが、先ほど、31, 32 ページ目の修正の説明でもいたしましたが、下段の目標３、快適に冬を暮らすための取組みの推進の内、重点施策６、雪の有効活用の施策（１）冷熱エネルギーの利用促進で「利用促進」から「利用」に、同じく「促進」から「推進」に、同じく「促進」から「拡大」に改めました。
提言書の構成についての変更はございません。雪対策に関する協働のあり方や役割分担等についての基本的な考えを定めるとともに、協働に基づく雪対策の推進を図るため、３つの目標、７つの重点施策と各々の施策を掲げております。以上で最終提言書に向けての説明を終わります。

質疑応答

【委員長】　ありがとうございました。ただいまのご説明に対して質問ご意見等ございましたらお受けしたいと思いますがいかがでしょうか。

【事務局】　補足説明なのですが、前回皆さまからいただいた意見で修正した部分もありますし、事務局で修正した部分もございます。特にグラフについては一部間違っておりましたので、ここで訂正してお詫び申し上げます。

【委員長】　内容を確認したところ良いのではないと思います。いかがでしょうか。C委員どうぞ。

【C委員】　小型除雪機貸出事業でよろしいのではないかと思いますが。機械と直す理由はなんでしょうか。

【事務局】　要綱やホームページに照会している文書のタイトルが、小型除雪機械としておりますので、それに統一したということでございます。「正式名称」ということでよろしくお願いしたいと思います。

【委員長】　ほかいかがでしょうか。それではよろしいでしょか。

【一　同】　異議なし。

4、北広島市雪対策基本計画策定検討委員会提言書の提出

【事務局】　どうもありがとございます。それでは早速ですが岸委員長の方から上野市長へ提言書を提出していただきたいと思います。よろしくお願いします。

（委員長より市長へ提言書を手渡す。）

5、その他（市長との懇談）

【事務局】　それでは、市長も同席しておりますので、この委員会に参加しての感想でも結構ですし、皆さまに一言お願い出来ればと思います。その後、上野市長に一言お言葉をいただきたいと思いますので、よろしくお願いします。それではC委員の方からよろしくお願いしたいと思います。

【C委員】　市長お疲れさまです。雪対策基本計画の策定委員になりまして、私は町内会に除雪懇談会などを行いますと、全部行政がやるのが当たり前だと考えている方が多いと思います。もう今はそういう時代ではなくて行政は、支援者であり、住民の支援をしてもらうものだと思います。今回のこの検討委員会では皆さんは意見を出し合い、よくまとまったすばらしい計画書が出来上がったと思っております。ご苦労さまでした。

【事務局】　ありがとうございます。それでは次、Ｈ委員お願いします。

【Ｈ委員】　市長大変ご苦労さまです。私はこの検討委員会に皆さんと一緒に参加させていただいてきまして、いろいろな意見を聞きかせていただきました。大変有意義だと思っております。これからもこういう機会があれば協力させていただきたいと思っております。今回、委員長はじめ皆さま大変ご苦労さまでした。お世話になりました。

【事務局】　ありがとうございました。それでは次、Ｂ委員お願いします。

【Ｂ委員】　市長お晩でございます。５月に委員会についての委員の推薦依頼を受け、理事長は局長しかいないだろうとうことでお受けした訳であります。それから今日まで６回開催された委員会の中で皆さんの意見を聞かせてもらいまして、その意見を現場サイドで生かそうと思っておりました。市の除雪契約も 11 月 11 日に契約をして、除雪センターの準備も出来上がりました。２回目の雪対策検討委員会から除雪センター長と一緒に皆さまの意見を聞かせていただこうと思い、私と二人で今日まで参加させていただきました。すぐ隣の街では雪がどんどん降っております。風が北向きになりますと雪が北広島に入ってきます。今は降雪量が１メートルぐらいと思いますが、それが４メートル５メートルと降る訳で、頑張ってやっていくしかないと思っています。不景気な世の中でありますが、組合 14 社には頑張ってもらい、私も組合事務局としてもお手伝いして行きたいと思っております。ありがとうございました。

【事務局】　ありがとうございました。それでは次、Ｆ委員お願いします。Ｆ委員は公募の委員でございます。

【Ｆ委員】　こんばんわ。お疲れさまです。一般的に出前講座とか検討委員会とかそういう会議に出ますと、行政に対する一方的な意見や苦情ばかりで、そのような意見が多い中で、今回の検討委員会は委員の皆さまが前向きで、すばらしい会議だったと思っております。また機会がありましたら、どうぞよろしくお願いします。

【事務局】　ありがとうございました。それでは次、Ｅ委員お願いします。Ｅ委員も公募の委員でございます。

【E委員】　皆さまお疲れ様です。この委員会に参加させていただくと決まった時に私は市民の立場としていっぱい意見を言おうと思っていました。この会議の中で行政の方とか、たくさんの皆さまのいろいろな話や実際に除雪している業者の方などの意見を聞き大変勉強になりました。いろいろな立場の意見を綺麗にまとめ挙げるなど、市役所の方は大変だったと思います。ご苦労さまでした。とても楽しかった会議でした。皆さまとはこれからはいろいろな所でお会いするのでしょが、私は一市民のものですからお気付きにならないと思います。このような会議に参加させていただきまして、ありがとうございました。お疲れさまでした。

【事務局】　ありがとうございます。それでは次、D委員お願いします。

【D委員】　お晩でございます。6回に亘りいろいろ討議させていただきました。警察は取り締まりの側に立つものですから、どうしても捕まえると非難を受けるものです。雪というものは皆さんも大変な思いをしており、それを何とかしたいという共通認識は一緒であります。私は行政と言うよりも住民が参加する方向で作られた雪対策計画のおおもとの大綱なるものが、良い形で出来たと思っております。この雪対策の会議が6回もあり、いろいろ試行錯誤して意見が出されました。こんなに討議が続くのかと思っていましたが、逆に時間が短いような感じを受けました。住民参加という形で言えば今若い人は余り除雪をしていないと思います。頑張っているのはお年寄りの方です。子供さんもやっていません。昔はお父さんの除雪を手伝っていたと思います。そう言う微笑ましい光景が影を潜めていると思います。そういう雰囲気を今後作って行けば、少しでも楽しい雪との協働の社会を実現出来るのではないかと思っております。これから、この提言書に肉付けをする形になると思いますが、我々警察サイドでも最後の切り札で、憎まれ役は買って出ますのでお任せしていただきたいと思います。ありがとうございました。

【事務局】　今後ともよろしくお願いします。ありがとうございました。それでは最後、委員長お願いします。

【委員長】　今回委員長を仰せつかりました北海道大学の岸と申します。この様な提言書が出来たのですが、委員会の時に皆さんにもお話しましたが、一番大変だっのは行政と住民の役割分担のところだったと思います。そこでどうあるべきかとういところで、まず、安全、安心というところは行政の責任で、

住民の皆さんがということになると連携と協働であります。しかし、その「協働」と言う言葉をちょっと安易に使い過ぎていたところがあり、何ですぐに協働にいってしまう。これは前回、前々回の議論というのは見事な議論であったと思います。私自身も勉強になりました。連携があり、その後協働があって、やっぱり協働のところで役割分担に住民があり、それを支えるのはボランティアであり、実はその辺のところが、よく読んでいくと、ちゃんとストーリーのように出来上がっている提言書になっていると思います。私も委員の皆さんも含めて良い提言書になったのは、この辺がうまくいったところと考えております。最終的にはこれが市役所にお持ち帰りいただいて、最終的形というのはこれから庁舎内で議論していただくことになると思うのですが、役割分担とか連携協働と言うのは簡単なのですが、実際どう行っていけばいいのかは、実際はその動いて行く中で行政と住民の皆さんとあるいは事業者さんとの３者の連携とは連携というか協働が必要になってくると思っています。私は札幌市の福祉の審議会の委員もしておりまして、思いやりと優しさのバリアフリーというキーワードがあり、それに則って新しくその福祉の政策をやっていきましょうということでした。今日の会議につなげようと思う時に、やっぱり思いやりが大事になってくると思います。これはお隣の間同士でもですね、また、独居老人の方がいたら、何とか除雪してあげようという思いやりもあるでしょうし、あるいは行政とあるいは事業者さんが、住民に対する思いやりもあるでしょうし、何かプラスアルファで心のつながりというところがないと、うまくいかないと思うのですが、すぐにうまくいくというものではありません。ひとまず今日は提案書を市長さんに渡したということで私のお役は御免ですので、今度は一市民に戻って、実際に雪対策が進んだときに、行政がちゃんとやっているかなとか住民がちゃんとやるべきだなと言うところを、私は学者なりに客観的に見ていきたいと思っております。今までいろいろとお世話になりましてありがとうございました。

【事務局】　どうもありがとうございました。それでは最後に上野市長から皆さんへ一言ごあいさつ申し上げます。

【市　長】　皆さんお晩でございます。市長の上野正三でございます。皆さま方には、検討委員会の委員をお願いいたしました。快くお引受けをいただきまして、そして今日まで６回に亘りましてご審議、そして今日提言書をいただきました。今、お一人一人の話をお聞ききまして、中を見ておりませんが素晴らしい提言書にまとまっているというふうに思いました。これから市の

内部で詰めまして市民の皆さんに最終的に意見を聞き、成案にしていきたと考えております。実は私も25年前になりますけど、昭和62、63年度に当時は維持管理課と言っておりまして、今の土木事務所長を２年間やっておりました。当時の人口は４万３千人ぐらいであったと思います。高齢化率も多分７パーセントぐらいと思いますが、昔は雪を道路に出す方はあまりいなかったのではないかと思います。毎年の市政懇談会等の市民の要望の一番は除雪でありました。今も一番目は除雪でありまして、この除雪というのは永遠の課題と思っております。私は北海道でありますので雪は天の恵みだと思っておりまして、この水がダムの水が枯れたりすることがなく水田等で使う水も枯れることなく全国で一番のお米の収穫、そしておいしい米を食べられるのはこの雪があるからではないかと思っております。北広島でも高齢化社会となって来ており、若い時と違って道路の脇に雪を上げることが出来なくなっていると思っております。毎年除雪等は工夫をしながら市民の皆さんが安全で安心して暮していけるように努力していかなければならないと思っております。今日いただいた提言書を基に、北広島の除雪が一番いいと言われるように、これからも努力をしてまいりたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いをいたします。６回に亘りまして大変御苦労いただきました。感謝を申し上げますと共に、これからも北広島のまちづくりにお力添えを賜りますようお願いを申し上げましてお礼の言葉とさせていただきます。どうもありがとうございました。

６、閉会

【事務局】　どうもありがとうございました。今まで６回に亘りまして、委員の皆さんには、非常に熱心なご議論をいただきまして、本当にお礼を申し上げます。それでは、これをもちまして第６回検討委員会を終了させていただきます。皆さまにおかれましてはお忙しいところ誠にありがとうございました。